

# 競技注意事項

第2回名古屋市小中学校陸上競技大会

1 本大会は2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項申し合わせ事項によって実施する。

## 2 ナンバーカードについて

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。走高跳、棒高跳、走幅跳は胸または背につけるだけでよい。
- (2) トラック競技は招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方にそのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードはフィニッシュ後、直ちに係員に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて

- (1) レクリエーション広場が使用できる。(投擲物の使用はできない)
- (2) 競技場内のバックストレート等を使用できる。  
ただし、競技中のレースに支障のないよう、安全に十分留意して行うこと。

### 【ハードル優先時間】

30日(日) 10:15~11:20 (バックストレート【5-6レーン女子、7-8レーン男子】)  
※ 200mの妨げとならないように実施

### 【リレー優先時間】

30日(日) 14:35~15:30 (第2・3コーナー【1-8レーン】)  
※ 100mの妨げとならないように実施

- (3) 競技場内での投擲練習は禁止する(公式練習のみ可)
- (4) リレーのウォーミングアップにおいて靴やバトンをマークとして使用しない。

## 4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (3) 欠場者のレーンは100m~400mではあける。800m以上については競技役員の指示による。
- (4) 計時方法は、写真判定(1/100秒)とする。
- (5) 短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (6) この大会は、不正スタートをした競技者は1回目で失格する。  
※ スターターの合図は英語とする。(「オン・ユア・マークス」、「セット」)
- (7) 走幅跳、走高跳においては、2ピットで行う。走幅跳のトップ8は、1ピットで行う。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示に従って行うこと。
- (9) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

## 5 招集について

- (1) 招集所は、全種目第三コーナー付近の北側倉庫一か所に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。  
なお、組数の多い種目に関しては、前後半に分けて招集を行う。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全種目	40分前	20分前
フィールド競技	全種目	50分前	30分前

- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに招集所に提出すること。オーダー用紙は、プログラムに添付してあるもの、もしくは、招集所に準備してあるものを使用する。

## 6 競技場への入退場について

- (1) 入場は競技役員の指示に従い行うこと。
- (2) 選手は北側または南側の出入り口より入場することができる。
- (3) 選手は、正面ゲートからの入退場を禁止する。

## 7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m40	1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70以上は3cm刻み
女子走高跳	1m20	1m40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45以上は3cm刻み
男子棒高跳	フリー		2m20	2m40	2m60	2m80		3m00以上は10cm刻み
女子棒高跳	フリー		1m80	2m00	2m20	2m40		2m60以上は10cm刻み

※上記の高さ、競技運営は状況に応じて変更することもある。

## 8 競技用靴について

### (1) スパイクピンの長さ

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

### (2) 靴底の厚さ

2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則により、本大会もこれに準ずる。もし、使用した場合、失格とする。

トラック 種目：～800m未満の種目は20mm。800m以上の種目は25mm以内とする。  
フィールド種目：走幅跳、走高跳、棒高跳、砲丸投は20mm以内とする。

## 9 表彰について

- (1) 各種目の1～8位は表彰状を授与する。表彰状は、各所属の代表者がスタンド1F記録室まで受け取りに行くこと。

## 10 開会式・閉会式について

- (1) 開会式と閉会式は、本大会は行わない。

## 11 入場規制について

- (1) 本大会は、選手、競技役員その他、選手1名につき1名の保護者の入場を認める。

※ 来場者体調記録表が必要。

### 【保護者の入場】

- ① 正面玄関横の外階段よりスタンドへ入場すること。
- ② 保護者の入場は、選手の競技場開始2時間前を目安に入場することができる。
- ③ 競技場内への立ち入りは禁止とする。
- ④ 収容スペースの関係上、入場できない場合がある。
- ⑤ 体調記録表を提出した保護者は、リストバンドを着用すること。

## 12 その他

- (1) 感染症防止対策を遵守すること。
- (2) 各学校（クラブチーム）の指導者は、審判に協力すること。
- (3) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

(4) 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について以下の点にご協力ください

※ 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※ 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎ 各種目のスタート後方

◎ 走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎ 走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※ また、他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

## ★ スタートにおける注意を受ける例

1) 「オン・ユア・マークス」の時

① なかなか、位置についての姿勢を取らない。

② 身体を止めない。

③ 手を上げてスタートを中断させる。

④ 大きな声を出して、他の競技者を威圧したような場合。

2) 「セット」の時

① タイミングを遅らせて腰を上げる。

② 静止しない。

③ 静止時に

a) 身体の一部がぴくっと動く。

b) 身体が沈み込む。

c) 身体が前に動き出す。

d) 両手が震える。

e) 足がスターティングブロックに固定できずズレ落ちる。